



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・進級や就学に期待を持ち、意欲的に過ごす。
- ・友だちと一緒に表現することの楽しさや達成感を味わう。



～今月の園内学習～

- ・足し算…7の段
- ・掛け算…7の段
- ・絵画カード…「最後の審判」など
- ・声に出して読みたい日本語
…『山椒魚』井伏鱒二

- ・歴史カード…「宮沢賢治」ほか
- ・国旗カード…オセアニア他
- ・地理カード…四国地方
- ・

～保育のポイント～

本当に愛する、とは何なのでしょう？ 考えれば考えるほどむずかしいことです。ですから、古くから思想家などが「愛とは何か」について追及してきました。それは、子どものために犠牲になってもいいと思う心に通ずるものではないでしょうか。他人から強いられた犠牲は悲劇ですが、自ら求めた犠牲は愛に結びつくものです。愛に関連して、この奉仕や犠牲は決して子どもを過保護に扱うことではなく、「子どもの気持ちになってみる」ということで換言すると「子どもを受け容れる(受容)」と表現できます。あるいは、子どもの立場に立って考えてみることを——と言っているのですが、「考える」こと以上に大切なことは、「感じる」ことで、謂わば 子どもの感情がわかること(共感的理解)と言えます。この受容する心があれば、日々の気に入らないような状態を示す子どもに対してすくなく叱ったりすることがなくなります。そして、(どうして気に入らなくなるのか)自問自答していく内に子どもの不安になっている感情が理解できるようになり、「気に入らない」という自身の気持ちが意外にも自分本位の狭い料簡だったことにハッとさせられることが多いのです。それを実効せしめるために必要なことの一つに「子どもの発達」についての知識をもつことが求められます。例えば、自発性が順調に発達している子どもには2歳から3歳にかけて第1反抗期が現れ、7、8歳頃には口答えが多くなります。このことが頭であれば、その現象を楽しみに待つことができますが、そうでないと「悪い子」と判断して叱ったりすることになるでしょう。ちょっとしたこのような知識が養育態度の違いに現れ、それは子どもの人格形成を左右しかねないので、どの年齢で、どのように扱いにくい状態を知っておくことは共感的理解の下、子どもののびのびとした人格形成に必要であることが理解いただけると思います。

～第一子を伸びる子に育てる本(平井信義著)より抜粋～

「ひよこ」と「りす」組だより

このところ猫の目のように「春」かな「冬」かな、と目まぐるしく天候が移り替わって体調管理が大変ですが、みんなは元気一杯に過ごしています。先月の発表会ではこの日に向け準備万端、のはずでしたが、涙が溢れて本来の練習の成果をバッチリとはお見せすることができなかったのは残念でしたが、一人ひとりが出来ることを一生懸命に表現できていたのは何よりでした。節分では赤鬼と青鬼揃い踏みの登場で大変な思いをしましたが、お兄ちゃんたちが成敗してくれたのでこれから元気に年度末を過ごし、新年度はさらに飛躍できるように見守っていきたいと思います。

「きりん」と「こあら」組だより

昔から春への道のりは三寒四温とノロノロと近づくと聞いていますが、このところはそれも何処へやらで不規則な天候変化で大変ですが、そんな中でもこどもたちは春探しの外遊びを楽しんでいます。自我確立も進み、協調性が求められる月齢になるきりん組のみんなは「お約束事」のある遊びに取組み中で、目下のところ人気なのが「おっくりくまさん」です。広い公園で暗黙の了解の下、みんなの輪ができスタートするのですが、みんなは「鬼」にならないように自然と動き回るようになるので元気の源にもなっています。こあら組は4歳や5歳の月齢が上の子たちの行動などを日々、目の当たりにしながら給食時の「長い針が〇〇になったら～」といった言葉のやり取りを聞きながら時間を意識するようになったり、運動会や発表会の練習風景を見てお遊戯などを見て真似て踊ってみたり、と異年齢保育ならではの刺激をバネに頑張ろうとする姿が見れるのでよく見守っていきたいと思います。

「ひつじ」と「ぞう」組だより

不規則な「さむ～」や「あったか」の繰り返しサイクルの寒暖差で体調管理が大変な時期ですが、みんなは年度末を元気パワー一杯に過ごしています。いよいよ「自分たちの番かぁ～」と感慨深げで面映ゆい気持ち半々でその日を心待ちにしているひつじ組。朝夕の合同保育では乳児クラスの面倒を快くしてくれ、保育士のお手伝いも進んで手を挙げて取り組む姿には次期・年長児の自覚はバッチリなので頑張ってもらいたいと思います。園生活のカウントダウンのぞう組は就学生活に向けたお昼寝タイムの読み書き、造形や塗り絵などを一緒に過ごしていることからお互いの絆がさらに強く太くなってきています。「ピカピカの一年生♪」のメロディが頭の中をめぐり、お互いのランドセルの色を言い合い、早くも卒園後の就学期に思いは向けられているようです。これから卒園小旅行なども予定されているのでいい思い出と共に就学期を迎えることができるようにしていきたいです。

給食だより

～季節の変わり目、体調管理は万全に！～

3月は弥生、春本番の時期といってもいい時期。ただ、昼夜の寒暖差や気圧変化により疲れやすくなったり、「天気が悪いと古傷がうずく」といった言い伝えがあるように頭痛、気分の落ち込みや関節炎といった気象関連痛に見舞われる他、持病の鬱や喘息が悪化したりしやすい時期なので体調管理面でビタミン類などの栄養がたっぷり含まれている旬の食材を摂り入れて健康管理をしっかりとしていくようにしましょう。幸いなことに、今月旬を迎える食べ物にはビタミン類やミネラルなどの栄養素が豊富で、寒い冬の間に弱った身体の調子を整えてくれる食材ばかり。例えば、鉄分やビタミンB群が豊富で貧血予防に役立つカツオ、丈夫な骨づくりには欠かせないカルシウムを含む春告魚のさより、その独特な香り成分のアリシンが(糖質をエネルギーへと変換する役目の)ビタミンB1の吸収率をアップさせてくれるニラ、体内の余分な塩分を排出し、高血圧症予防に役立つカリウムが豊富なトビス、抗酸化作用が老化防止や疲労回復に効果大なキウイフルーツ、そして免疫力を高めるビタミンCやお腹の調子を整える食物繊維にでんぷんを分解する消化酵素が含まれる蕪などがあります。これらビタミン類などの栄養素がたっぷり含まれている旬の食材を摂り入れた体調管理で元気に年度末そして新年度を迎えられるようにしていきましょう！



～行事予定～

- ・ひな祭り会…1日
- ・音楽教室(三味線)…4日
- ・書道教室…7日・14日・21日・28日
- ・体操教室…8日(0・1歳児/3歳児)
11日(2歳児/4・5歳児)
- ・リミック教室…14日(3歳児/4・5歳児)
18日(0・1歳児/2歳児)
- ・英語教室…19日(幼児)
21日(乳児)
- ・身体測定…21日(幼児)
22日(乳児)
- ・卒園式…23日
- ・避難訓練…25日
- ・誕生日会…26日